

# 4 片付けごみの種類、分別区分

片付けごみは、分別して集積場へ排出してください。

### 分別されないと…

- 処理に時間がかかる
- 処理費用が増加する
- 腐敗しやすい生ごみ等による悪臭や害虫が発生する
- ガスボンベなどの危険物が混入してしまい、それが破損してしまうことなどによって火災が発生する危険がある

### 分別して排出されると…

- 処理にかかる時間が短くなる
- 処理に係る時間が短くなること、再分別する手間がはぶけることで、処理費用が抑えられる
- 腐敗しやすいものから順番に処理することができ、悪臭や害虫を発生させない
- 危険物を分けておくことで、他のものと触れる機会が減り、破損などによる火災などの危険が軽減する

**片付けごみの分別方法**

積み上げすぎに注意しよう

生ごみは持ち込まないで!!

ケガをしないように気をつけよう!

瓦類

コンクリート

可燃物  
木製家具・布団など

危険物  
スプレー缶・ガソリンなど

不燃物  
金属製家具・ガラスなど

家電リサイクル品  
エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機(4品目)

家電製品  
4品目以外

ごみの種類ごとに、決められた場所に置いてください。

# 5 ごみ分別アプリの紹介

市では、燃やせるごみの収集日やエコ広場の開設日が確認できるスマートフォン向けアプリ「さんあ〜る」を導入しています。  
災害時のごみについても「さんあ〜る」でお知らせします。

### インストール方法

スマートフォン等で「さんあ〜る」と検索してインストールしてください。右記のQRコードからもインストールできます。

Android用



iOS用



お問い合わせ

新宮市生活環境課

〒647-8555 新宮市春日1番1号 電話:0735-23-3333

環境省 近畿地方環境事務所

新宮市

# 大規模災害時のごみの出し方



大規模な災害が発生すると、一度に大量のごみが出てきます。  
一日も早い復旧・復興のためには、災害廃棄物の分別にご協力いただくことが不可欠です。  
このパンフレットでは、災害に備えて、住民の皆様に災害時のごみの出し方をお知らせします。

## 目次

- 1 災害時のごみ搬出ルール
- 2 片付け作業時の注意
- 3 平時の備え

- 4 片付けごみの種類、分別区分
- 5 ごみ分別アプリの紹介

# 1 災害時のごみ搬出ルール

災害直後はクリーンセンター、被害地域の確認のために、**ごみ収集（燃やせるごみ収集及びエコ広場の開設）は一時的に停止**する場合があります。次の点にご理解とご協力をお願いします。

災害発生から**数日間**は**ごみをご自宅**で保管していただくかなくてはならない場合があります。

収集再開後は、生活ごみ、使用済非常用トイレなど**腐敗しやすい「燃やせるごみ」**から優先して回収します。

## 燃やせるごみ



生ごみなどの腐敗しやすいもの

凝固剤で適切に処理されたもの



その他の燃やせるごみ

再開後



数日間収集できなくなる場合があります。

## 自宅

収集が再開してから、通常どおり、収集日の指定時刻までに自宅前に出してください。  
被災状況によって、収集車が入れない場所は、収集車が通れる場所まで出してください。

## 資源物



## 自宅で保管

## エコ広場

災害時は、災害ごみの収集を優先します。収集が再開してから、エコ広場へ排出してください。



住民の皆様及び運営員の安全確保や、収集体制が整うまで、エコ広場の開設を中止します。  
エコ広場で収集している資源物や不燃物などは、**市から連絡があるまでは、自宅で保管**をお願いします。

避難所でのごみ捨ては、避難所によってルールが異なる場合があります。避難所のルールにしたがってください。

被災によって発生したごみは、**集積場\***へ排出してください。

\*集積場：災害によって発生したごみを一時的に保管するための場所。

## 片付けごみ



冷蔵庫は空にして排出してください

濡れて使えなくなったじゅうたんや布団など

濡れて使えなくなった畳

割れたガラスや陶磁器

※片付けごみは、被災した自宅内を片付けるときに出てくる壊れた家具などです。詳しい種類は次のページを参照してください。

## 集積場

市が指定する片付けごみ集積場へ分別して持ち込みをお願いします。  
なお、被災して発生したごみ以外は持ち込めません。

## 注意!!

片付けごみは道路に出さないでください。緊急車両等の通行の妨げになります。



## 2 片付け作業時の注意

- 片付けごみには、割れたガラスや金属などが含まれ大変危険です。作業の時は、**長袖・長ズボン**で行いましょう。また、**手袋や長靴**なども使用しましょう。
- 目や口に粉じんが入らないようにしましょう。
- 片付け中にごみの倒壊などが起きることがあります。できるだけ**一人では作業しない**ようにしましょう。
- 夏場は熱中症に注意、冬場は防寒するようにしましょう。

## 3 平時の備え

- 災害が起きると、普段は使っていないものもごみとなってしまいます。**不要なものは、平時のうちにできるだけ処分**するようにしましょう。災害時のごみを減らすだけでなく、**避難通路の確保**にも役立ちます。
- 家具や家電製品は、できる限り壁や**天井に固定**するようにしましょう。倒れにくくしておくことで、**転倒によるけがを防ぎ、身を守る**ことにつながります。また、破損を防ぐことができ、災害時のごみを減らすことにもつながります。

家電販売店などへご相談ください。

販売店・メーカーにご相談ください。

